

高齢者の社会参加に関する意識調査結果

目 次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果の集計	
(1) 調査対象者の基本属性	
○ 性別（問1）	1
○ 年齢層（問2）	1
○ 家族構成（問3）	1
○ 居住期間（問4）	2
○ 健康状態（問5）	2
○ 支えられるべき高齢者の年齢（問6）	3
○ 生きがい度（問7）	3
・ 生きがいを感じる時（問7-1）	
○ 行動の主体性（問8）	4
○ 行動の形態（問9）	4
(2) 趣味やスポーツに関する事項	
○ 参加したい活動内容（問10）	5
・ 参加したい理由（問10-1）	
・ 活動の参加頻度（問10-2）	
・ 参加するための情報源（問10-3）	
・ 参加しない理由（問10-4）	
○ 参加のきっかけとなるもの（問11）	9
○ 半年間に参加した活動内容（問12）	9
・ 参加してよかったこと（問12-1）	
・ 参加しなかった理由（問12-2）	
(3) 地域活動、ボランティア活動に関する事項	
○ ボランティア活動に対する意向（問13）	12
・ 参加した・したい活動内容（問13-1）	
・ 参加した・したい理由（問13-2）	
・ 参加した・したい活動の頻度（問13-3）	
・ 参加できない・したいと思わない理由（問13-4）	
○ 参加のきっかけとなるもの（問14）	16
○ 報酬のあり方（問15）	16
○ 負担のあり方（問16）	16

(4)	働くことに関する事項	
○	働くことに対する意向 (問 17)	17
	(現在、働いている方)	
	・ 現在、働いている業種 (問 18-1)	18
	・ 現在、働いている雇用形態 (問 18-2)	
	・ 現在の労働時間 (週) (問 18-3)	
	・ 現在の労働時間 (日) (問 18-3)	
	・ 就労継続を希望する年齢 (問 18-4)	
	(今後、働きたいと思っている方)	
	・ 今後、働きたい理由 (問 19-1)	21
	・ 今後、働きたい業種 (問 19-2)	
	・ 今後、働きたい労働時間 (週) (問 19-3)	
	・ 今後、働きたい労働時間 (日) (問 19-3)	
	・ 就労継続を希望する年齢 (問 19-4)	
	・ 仕事を選択するときに重視すること (問 19-5)	
	・ 就労関係機関・サービス (問 19-6)	
	・ 就労のきっかけとなるもの (問 19-7)	
	(働きたいが今は働けない方・働くつもりのない方)	
	・ 今は働けない・働くつもりはない理由 (問 20-1)	
		26
(5)	調査によせられた主なご意見	27

1. 調査の概要

調査対象	市内に居住する満 60 歳以上の住民 計 1,600 名
調査方法	層化二段無作為抽出 郵送配布、無記名郵送回答
調査期間	平成 30 年 11 月 12 日 ～ 11 月 30 日
回答率	59.2% (947 票)

2. 調査結果の集計

(1) 調査対象者の基本属性

① 性別（問 1）・年齢層（問 2）

	男 性	女 性	無回答	計
60～64 歳	103	109	—	212
	10.9	11.5	—	22.4
65～69 歳	116	107	—	223
	12.2	11.3	—	23.5
70～74 歳	134	121	—	255
	14.1	12.8	—	26.9
75 歳以上	135	116	—	251
	14.3	12.3	—	26.6
無 回 答	—	—	6	6
	—	—	0.6	0.6
計	488	453	6	947
	51.5	47.9	0.6	100.0

上段：件数

下段：総計に対する構成比（%）

② 家族構成（問 3）

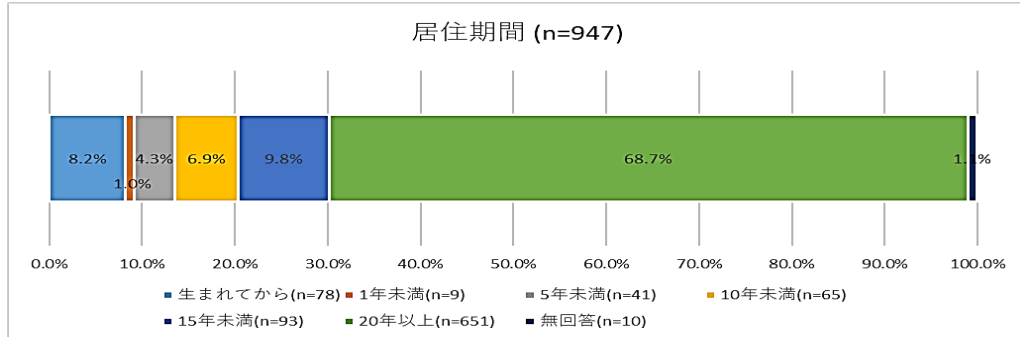
一人暮らし	夫婦のみ	二世代（計）	三世代（計）			四世代	その他	無回答			
			本人と親	本人と子	本人と孫						
119	405	298	40	251	7	103	28	75	5	7	10
12.6	42.8	31.4	4.2	26.5	0.7	10.9	3.0	7.9	0.5	0.7	1.1

上段：件数

下段：総計に対する構成比（%）

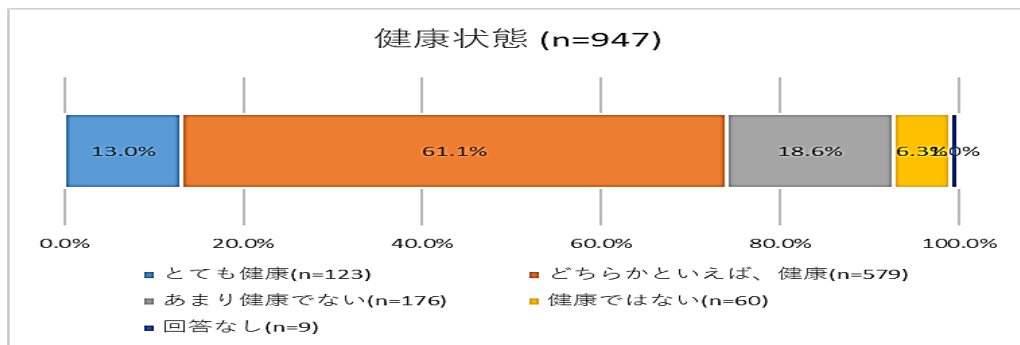
③ 居住期間（問4）

『生まれてから』と『20年以上』の方で76.9%であった。



④ 健康状態（問5）

健康と思っている方が74.1%、健康ではないと思っている方が24.9%であった。

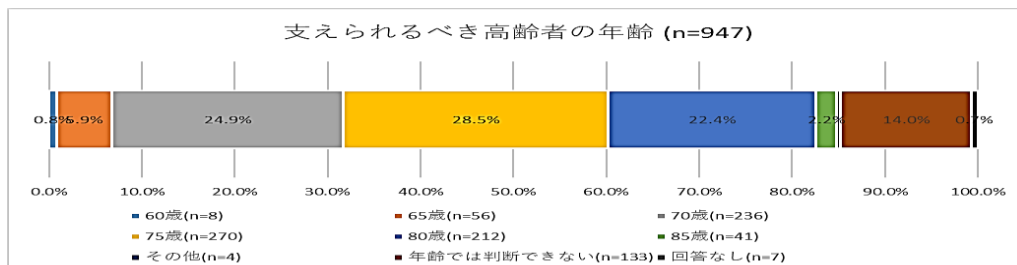


(性別・年齢層別にみた健康状況)

	とても健康だ と思う	どちらか といえば 健康だ と思う	あまり 健康 でない	健康 でない	無 回 答	計
60～64 歳	12.7	68.4	15.6	3.3	—	100.0
65～69 歳	13.5	60.5	21.1	4.9	—	100.0
70～74 歳	16.1	60.8	15.7	6.7	0.7	100.0
75 歳以上	9.9	57.4	22.3	10.0	0.4	100.0
男性	13.1	61.7	19.7	5.1	0.4	100.0
女性	13.0	61.4	17.7	7.7	0.2	100.0

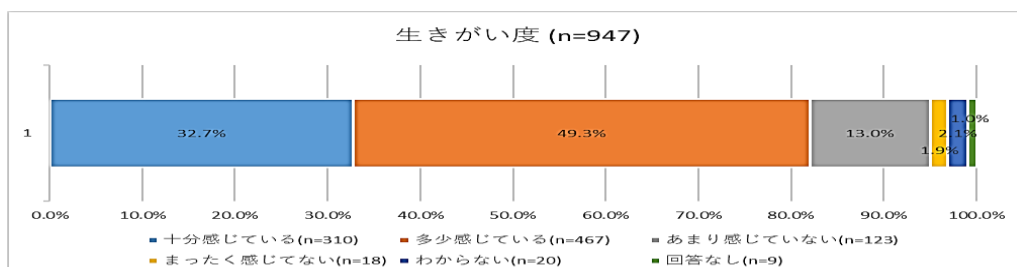
⑤ 支えられるべき高齢者の年齢（問6）

75歳以上の方が28.5%、70歳以上が24.9%であった。一方で、年齢では判断できないが14.0%であった。



⑥ 生きがい度（問7）

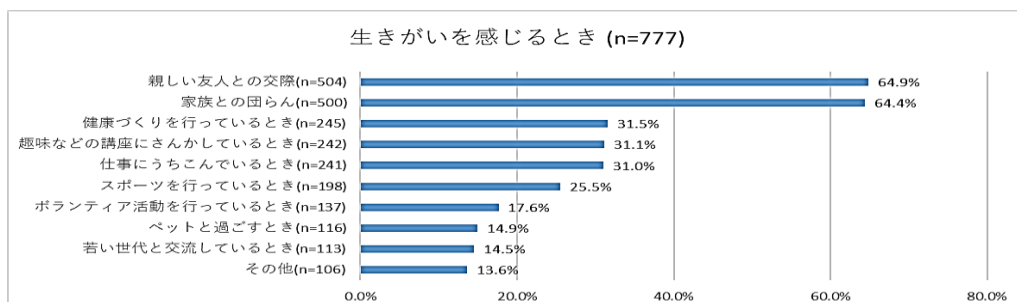
生きがいを感じている方が82.0%、感じていない方が14.9%であった。



(年齢層別にみた生きがい度)

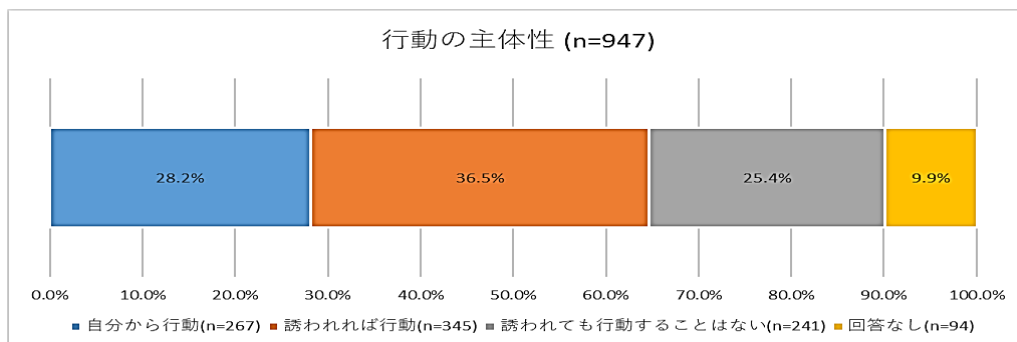
	いる 十分感じて	いる 多少感じて	いて ない あまり感じ	いて ない まったく感	無回 答 わから ない	計
60～64歳	30.7	49.1	15.1	3.3	1.8	100.0
65～69歳	30.9	53.4	12.6	1.3	1.8	100.0
70～74歳	36.9	46.3	12.5	2.3	2.0	100.0
75歳以上	32.7	49.8	12.3	0.8	4.4	100.0

⑥ - (ア) 生きがいを感じる時（問7-1 複数回答）



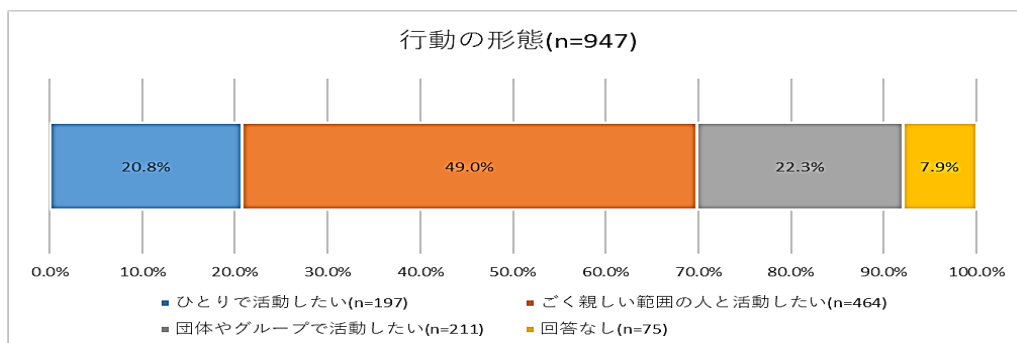
⑦ 行動の主体性（問8）

『誘われれば行動する』が36.5%、『自分から行動する』が28.2%、『誘われても行動することは少ない』が25.4%であった。



⑧ 行動の形態（問9）

『ごく親しい範囲の人と活動したい』が49.0%、『団体やグループで活動したい』が22.3%、『ひとりで活動したい』が20.8%であった。



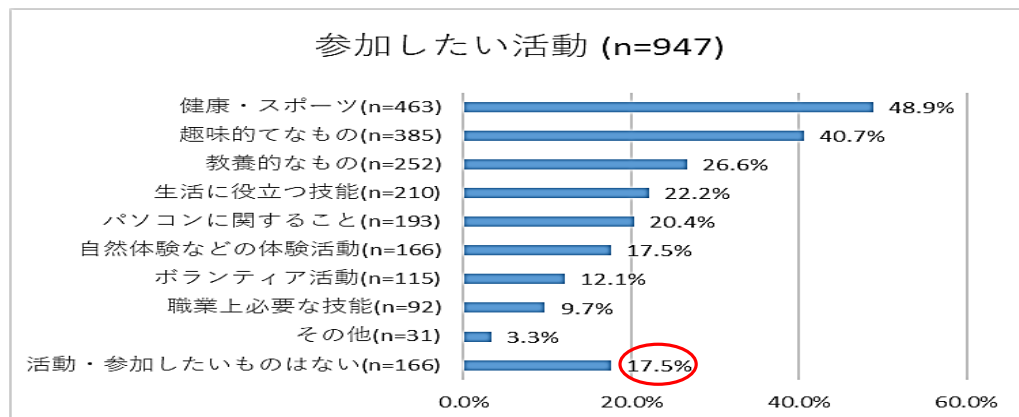
(行動の主体性別にみた行動の形態)

	ひとりで活動したい	ごく親しい範囲の人と活動したい	団体やグループで活動したい	無回答	計
自分から行動する	36.3	30.0	33.3	0.4	100.0
誘われれば行動する	11.0	66.1	22.3	0.6	100.0
誘われても行動することは少ない	21.5	52.7	15.8	10.0	100.0

(2) 趣味やスポーツに関する事項

① 参加したい活動内容 (問 10 複数回答)

活動に参加したい方が 82.5%、活動・参加したいものはない方が 17.5%であった。



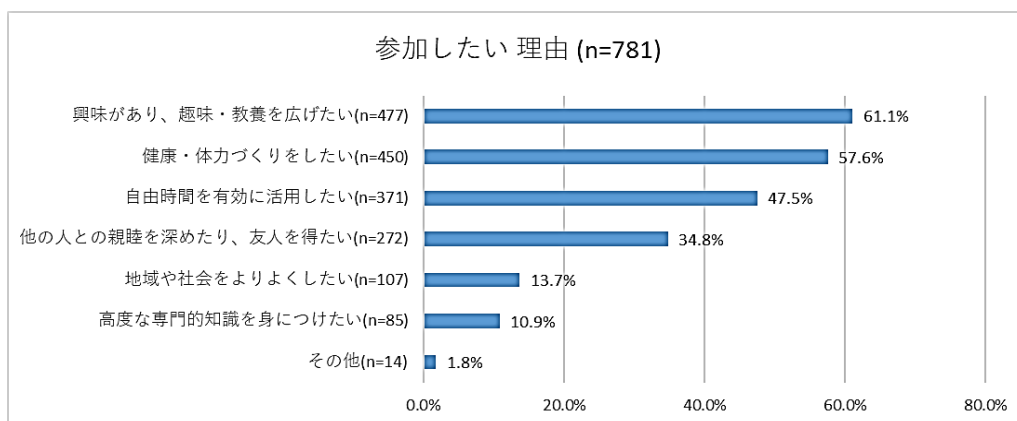
(年齢層別にみた参加したい活動)

	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	生活に役立つ技能	職業上必要な技能	パソコンに関すること	ボランティア活動	自然体験などの体験活動	その他	活動・参加したいものはない
60～64歳	51.9	25.5	51.9	27.8	16.0	25.5	11.8	22.2	0.9	15.1
65～69歳	37.7	27.4	52.5	27.4	9.9	24.2	9.4	13.0	0.9	18.4
70～74歳	38.4	31.0	47.8	18.8	8.2	20.0	16.1	16.9	4.7	16.9
75歳以上	34.7	21.5	43.8	16.3	5.6	12.7	10.0	17.5	6.0	19.9

(活動に参加したい方)

① - (ア) 参加したい理由 (問 10-1 複数回答)

『興味があり、趣味・教養を広げたいから』が 61.1%、『健康・体力づくりをした
いから』が 57.6%、『自由時間を有効活用したいから』が 47.5%の順であった。

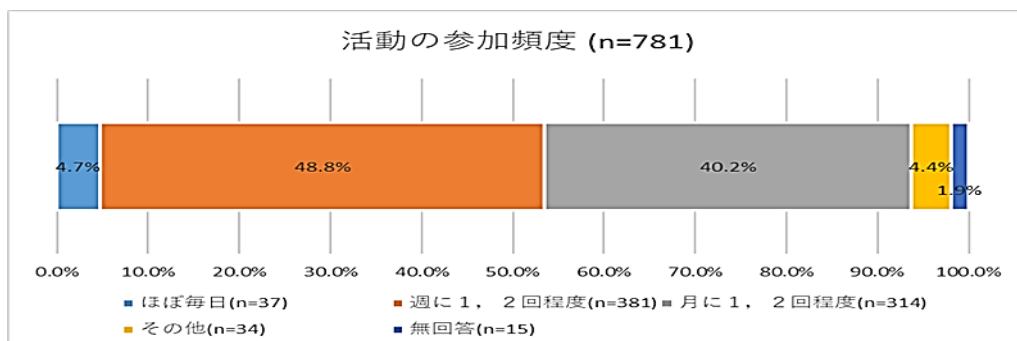


(年齢層別にみた参加したい理由)

	興味があり、 趣味・教養を 広げたい	高度な専門的 知識を身に つけたい	他の人と親睦 を深めたり、 友人を得たい	健康・体力 づくりをした い	自由時間を 有効に活用 したい	地域や社会 をよりよく したい	その他
60～64 歳	54.7	13.2	24.5	47.6	41.0	12.3	1.4
65～69 歳	50.7	7.6	25.1	51.6	40.4	9.0	0.4
70～74 歳	50.2	8.6	32.2	48.2	35.7	12.9	1.6
75 歳以上	45.4	6.8	31.5	42.2	39.0	9.6	2.4

① - (イ) 活動の参加頻度 (問 10-2)

『週に1, 2回程度』が48.8%、『月に1, 2回程度』が40.2%であった。

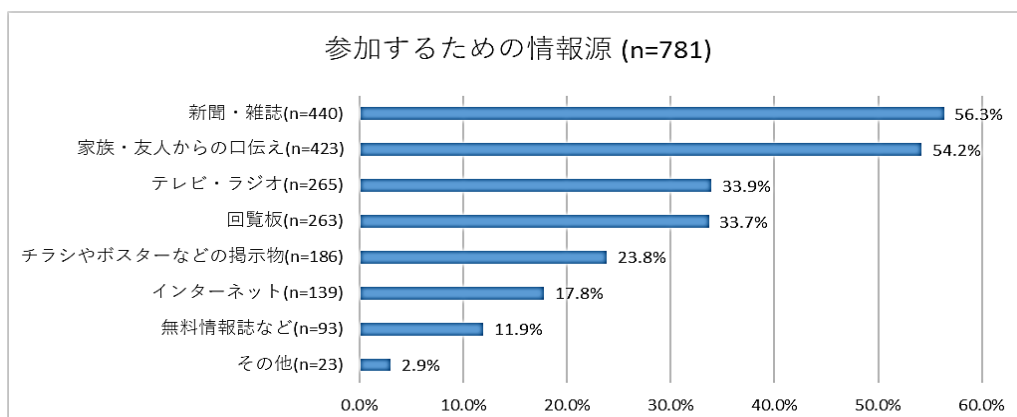


(年齢層別にみた活動の参加頻度)

	ほぼ毎日	週1・2回	月1・2回	その他	無回答	計
60～64歳	2.8	47.2	42.8	6.7	0.5	100.0
65～69歳	6.0	48.4	40.7	2.2	2.7	100.0
70～74歳	5.2	53.3	36.3	3.8	1.4	100.0
75歳以上	4.5	45.3	42.3	4.9	3.0	100.0

① - (ウ) 参加するための情報源 (問 10-3 複数回答)

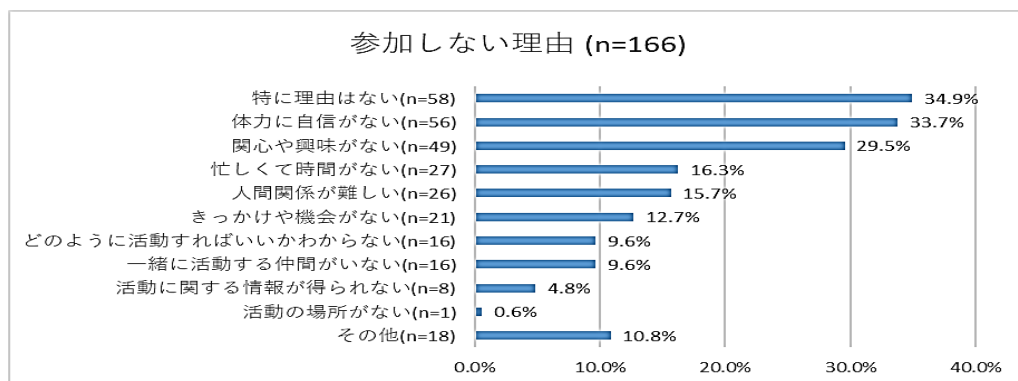
『新聞や雑誌』が56.3%、『家族や友人、知人からの口伝え』が54.2%、『テレビやラジオ』が33.9%の順であった。



(活動に参加したいものはない方)

① - (エ) 参加しない理由 (問 10-4 複数回答)

『特に理由はない』が 34.9%、『体力に自信がない』が 33.7%、『関心や興味がない』が 29.5%の順であった。

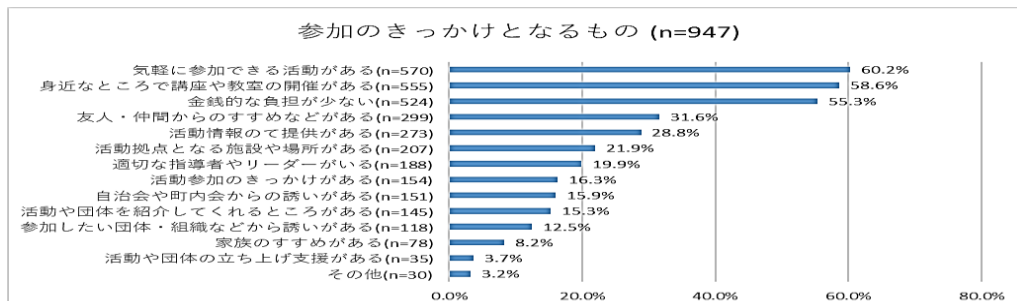


(年齢層別にみた参加しない理由)

	きっかけや機会がない	忙しくて時間がない	関心や興味がない	活動に関する情報が得られない	活動の場所がない	一緒に活動する仲間がない	体力に自信がない	どのように活動すればいいかわからない	人間関係が難しい	特に理由はない	その他
60～64 歳	15.6	21.9	46.9	—	—	12.5	18.8	12.5	21.9	34.4	15.6
65～69 歳	14.6	24.4	26.8	9.8	—	12.2	24.4	7.3	17.1	29.3	7.3
70～74 歳	16.3	14.0	27.9	—	—	7.0	44.2	11.6	20.9	32.6	11.6
75 歳以上	6.0	8.0	22.0	8.0	2.0	8.0	42.0	8.0%	6.0	42.0	10.0

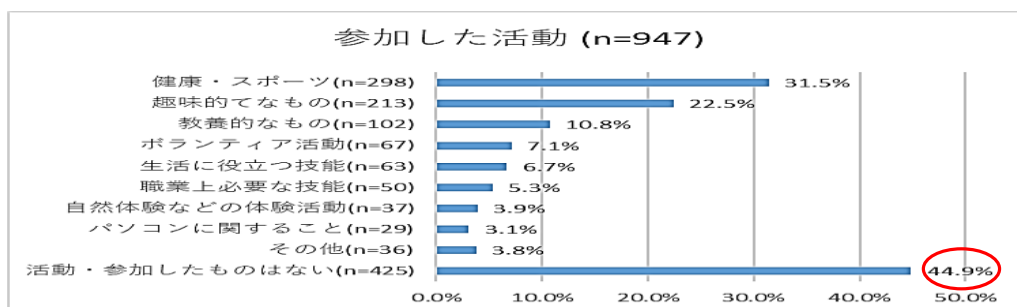
② 参加のきっかけとなるもの（問11 複数回答）

『気軽に参加できる活動があること』が60.2%、『身近なところで講座や教室の開催があること』が58.6%、『金銭的な負担が少ないこと』が55.3%の順であった。



③ 半年間に参加した活動内容（問12 複数回答）

半年間に活動に参加した方が55.1%、活動に参加しなかった方が44.9%であった。



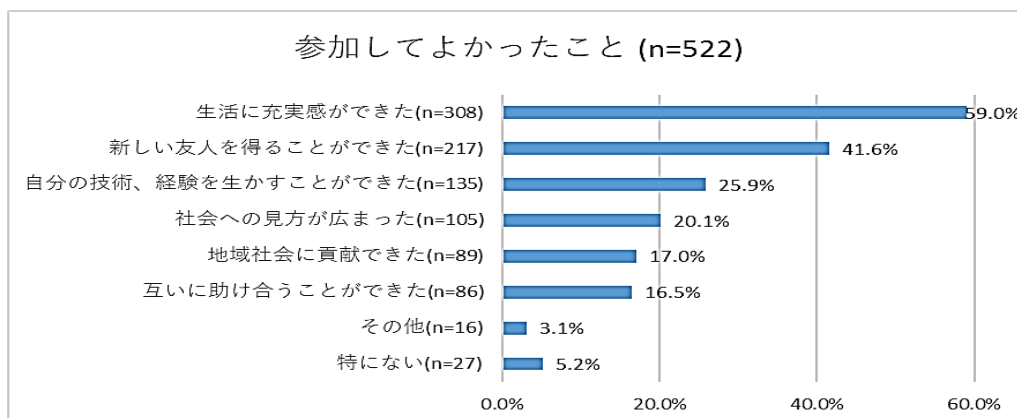
(年齢層別にみた参加した活動)

	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	生活に役立つ技能	職業上必要な技能	こと	パソコンに関する	ボランティア活動	自然体験などの体験活動	その他	活動・参加したものはない
60～64歳	12.2	4.7	17.3	3.6	7.2	0.4	5.4	4.0	2.2	12.2	
65～69歳	15.9	5.7	25.7	3.7	3.7	2.0	4.7	1.7	1.4	15.9	
70～74歳	16	9.8	22.9	5.9	2.9	4.0	5.9	2.4	2.7	16	
75歳以上	19.3	8.9	23.7	5.3	2.0	2.0	4.5	3.4	4.5	19.3	

(活動に参加した方)

③ - (ア) 参加してよかったこと (問 12-1 複数回答)

『生活に充実感ができた』が 59.0%、『新しい友人を得ることができた』が 41.6%、『自分の技術・経験を生かすことができた』が 25.9%の順であった。



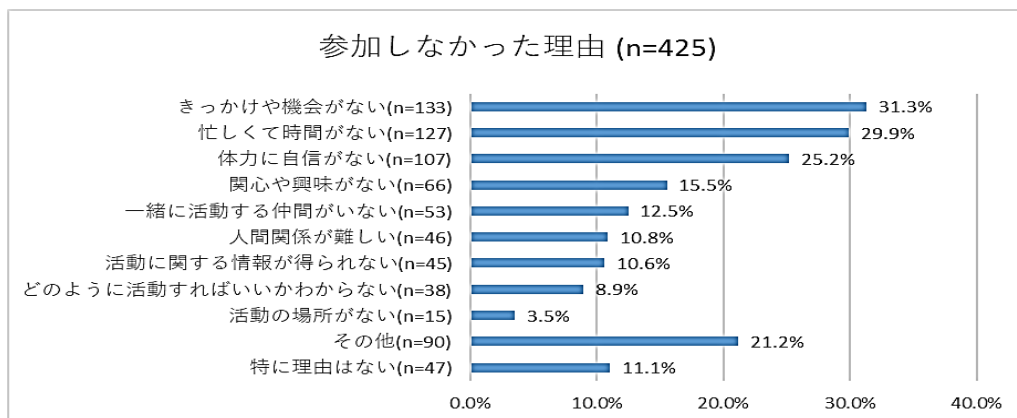
(年齢層別にみた参加してよかったこと)

	生活に充実感ができた	自分の技術・経験を生かすことができた	新しい友達を得ることができた	社会への見方が広まった	互いに助け合うことができた	地域社会に貢献できた	その他	特にない
60～64歳	27.4	13.7	11.8	7.1	6.1	8.5	1.9	1.9
65～69歳	31.8	10.3	21.5	13.5	4.9	6.7	0.9	3.1
70～74歳	34.9	14.1	27.5	12.5	13.3	9.4	2.0	3.5
75歳以上	34.3	17.5	28.3	11.2	10.0	11.6	2.0	2.8

(活動に参加しなかった方)

③ - (イ) 参加しなかった理由 (問 12-2 複数回答)

『きっかけや機会がない』が 31.3%、『忙しくて時間がない』29.9%、『体力に自信がない』25.2%の順であった。



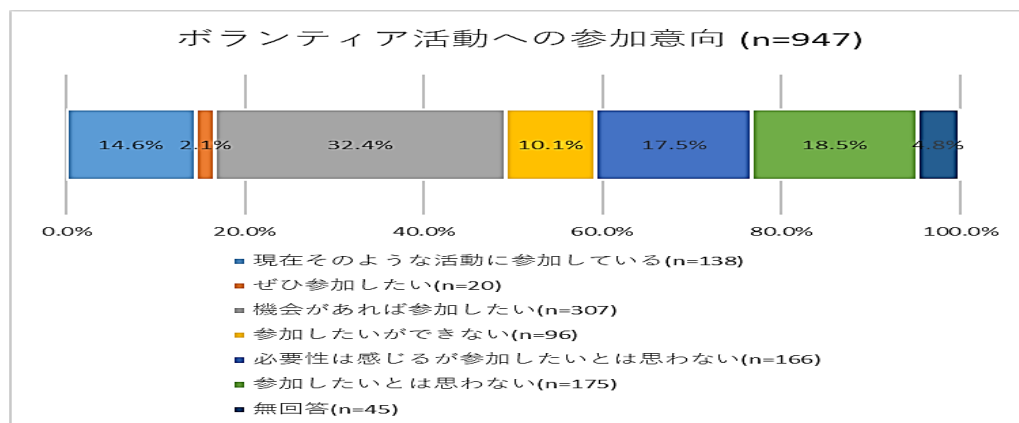
(年齢層別にみた参加しなかった理由)

	きっかけや機会がない	忙しくて時間がない	関心や興味がない	活動に関する情報が得られない	活動の場所がない	一緒に活動する仲間がない	体力に自信がない	どのように活動すればいいかわからない	人間関係が難しい	特に理由はない	その他
60～64歳	40.0	43.3	15.8	10.0	1.7	8.3	15.8	5.8	11.7	21.7	11.7
65～69歳	27.6	31.4	18.1	7.6	4.8	12.4	21.0	7.6	14.3	17.1	13.3
70～74歳	30.8	27.9	12.5	11.5	4.8	11.5	31.7	11.5	8.7	21.2	10.6
75歳以上	25.3	13.7	15.8	13.7	3.2	18.9	33.7	11.6	8.4	25.3	8.4

(3) 地域活動、ボランティア活動に関する事項

① ボランティア活動に対する意向 (問 13)

活動に参加している・したい方が 49.1%、活動に参加できない・したいとは思わない方が 46.1%であった。



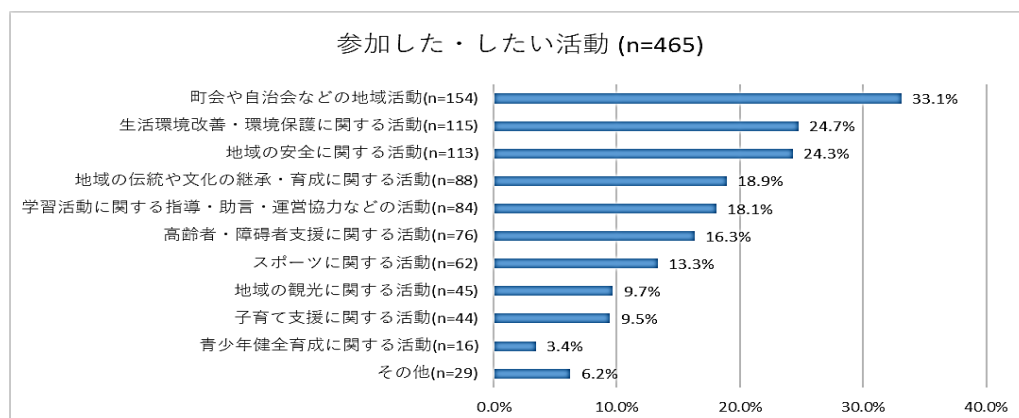
(年齢層別にみたボランティア活動への参加意向)

	現在そのような活動に参加している	ぜひ参加したい	機会があれば参加したい	参加したいができない	必要性を感じるが参加したいとは思わない	参加したいとは思わない	無回答	計
60～64 歳	12.3	1.4	37.8	7.5	22.6	16.0	2.4	100.0
65～69 歳	12.1	1.8	31.4	10.3	20.2	20.2	4.0	100.0
70～74 歳	17.2	2.4	30.2	9.4	16.9	20.4	3.5	100.0
75 歳以上	15.1	2.8	31.1	13.1	11.6	17.5	8.8	100.0

(活動に参加した・したい方)

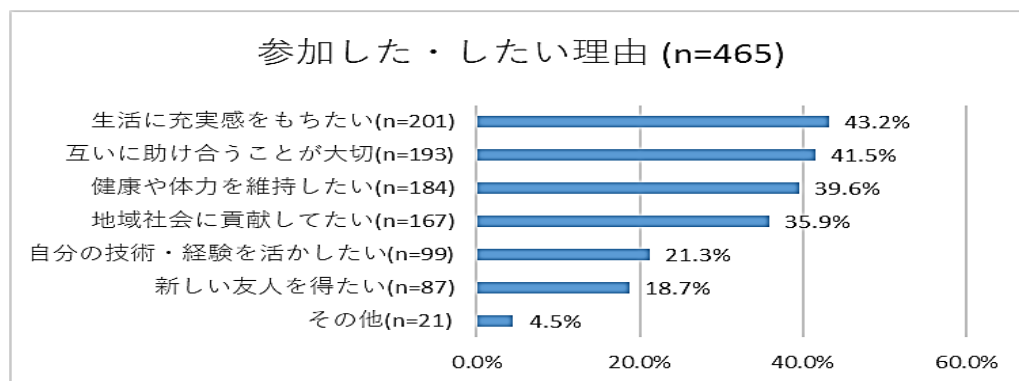
① - (ア) 参加した・したい活動内容 (問 13-1 複数回答)

『町会や自治会などの地域活動』が 33.1%、『生活環境改善・環境保護に関する活動』が 24.7%、『地域の安全に関する活動』が 24.3%の順であった。



① - (イ) 参加した・したい理由 (問 13-2 複数回答)

『生活に充実感をもちたいから』が 43.2%、『お互いに助け合うことが大切だから』が 41.5%、『健康や体力を維持したいから』が 39.6%の順であった。

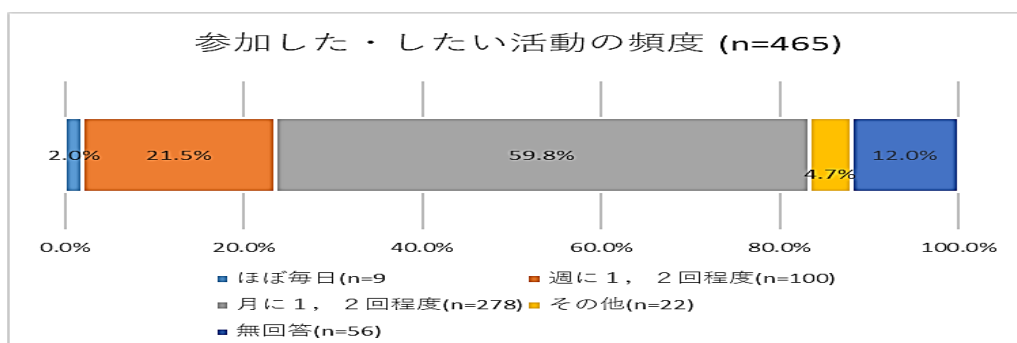


(年齢層別にみた参加した・したい理由)

	ち生活に充実感をもちたい	を自分の技術・経験をいかしたい	い新しい友達を得たい	した健康や体力を維持したい	と互いに助け合うことが大切だから	たい地域社会に貢献したい	その他
60～64 歳	49.5	25.7	11.9	28.4	44.0	40.4	4.6
65～69 歳	41.6	17.8	17.8	43.6	40.6	38.6	2.0
70～74 歳	47.2	21.3	22.0	42.5	48.0	37.8	5.5
75 歳以上	34.1	20.3	22.0	42.3	32.5	27.6	5.7

① - (ウ) 参加した・したい活動の頻度 (問 13-3)

『月に1、2回程度』が59.8%あった。



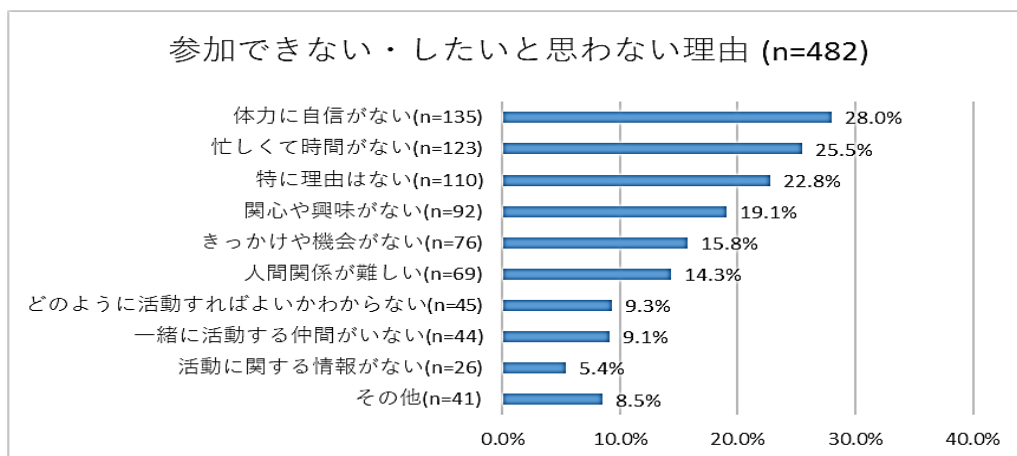
(年齢層別にみた参加した・したい活動の頻度)

	ほぼ毎日	週1・2回	月1・2回	その他	無回答	計
60～64歳	2.7	17.4	66.1	4.6	9.2	100.0
65～69歳	1.0	18.8	69.3	2.0	8.9	100.0
70～74歳	0.8	28.3	57.5	5.5	7.9	100.0
75歳以上	3.3	18.7	50.4	6.5	21.1	100.0

(活動に参加できない・したいと思わない方)

① - (エ) 参加できない・したいと思わない理由 (問 13-4 複数回答)

『体力に自信がない』が 28.0%、『忙しくて時間がない』が 25.5%、『特に理由はない』が 22.8%の順であった。

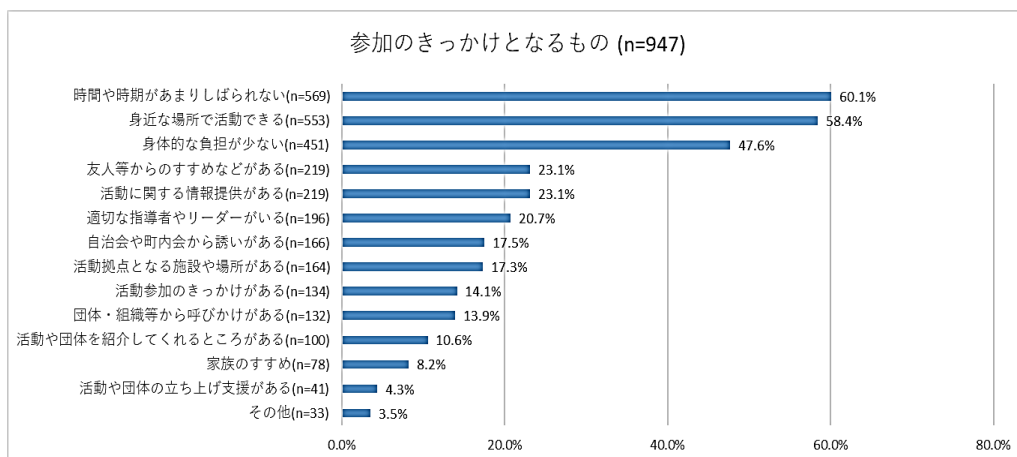


(年齢層別にみる参加できない・したいと思わない理由)

	きっかけや機会がない	忙しくて時間がない	関心や興味がない	活動に関する情報が得られない	一緒に活動する仲間がない	体力に自信がない	どのように活動すればよいかわからない	人間関係が難しい	特に理由はない	その他
60～64 歳	23.5	38.8	33.7	8.2	8.2	25.5	17.3	22.4	19.4	8.2
65～69 歳	18.6	31.0	21.2	5.3	10.6	25.7	7.1	21.2	25.7	8.8
70～74 歳	16.0	24.4	19.3	5.0	11.8	29.4	6.7	14.3	24.4	10.1
75 歳以上	12.3	19.8	11.3	5.7	9.4	42.5	11.3	5.7	31.1	10.4

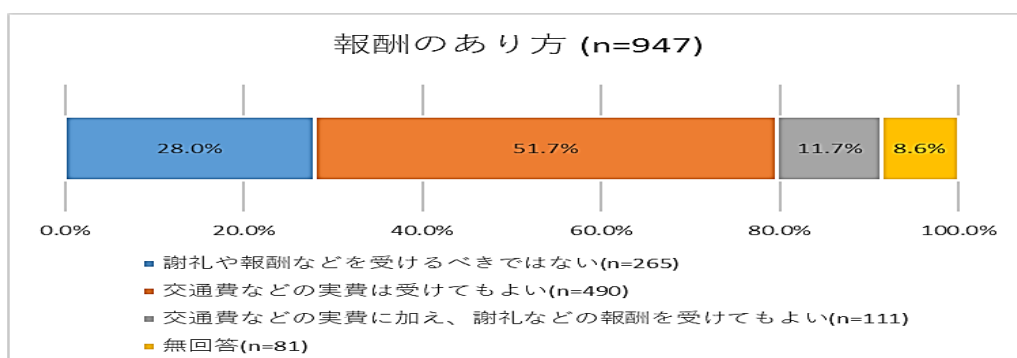
② 参加のきっかけとなるもの（問14 複数回答）

『時間や時期があまりしぼられないこと』が60.1%、『身近な場所で活動できること』が58.4%、『身体的な負担が少ないこと』が47.6%の順であった。



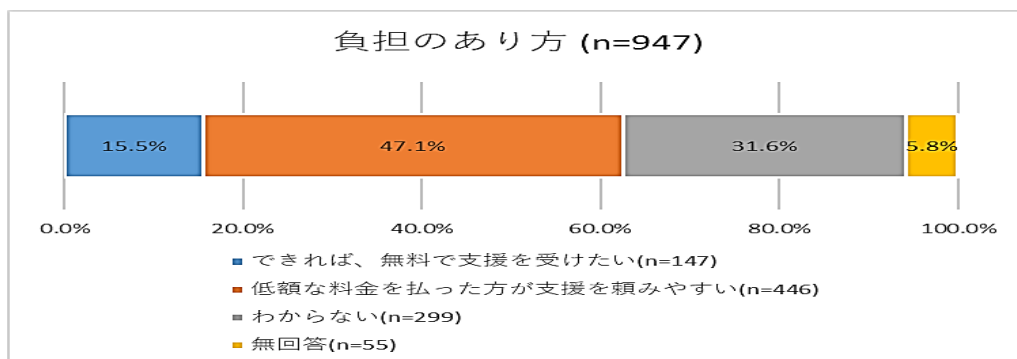
③ 報酬のあり方（問15）

『交通費などの実費は受けてもよい』が51.7%であった。



④ 負担のあり方（問16）

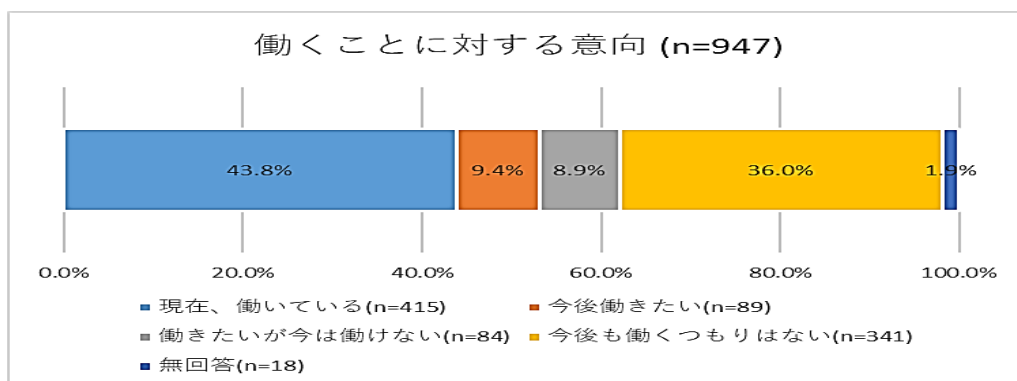
『低額な料金を払った方が支援を頼みやすい』が47.1%であった。



(4) 働くことに関する事項

① 働くことに対する意向 (問 17)

『現在、働いている』が 43.8%、『今後も働くつもりはない』が 36.0%であった。



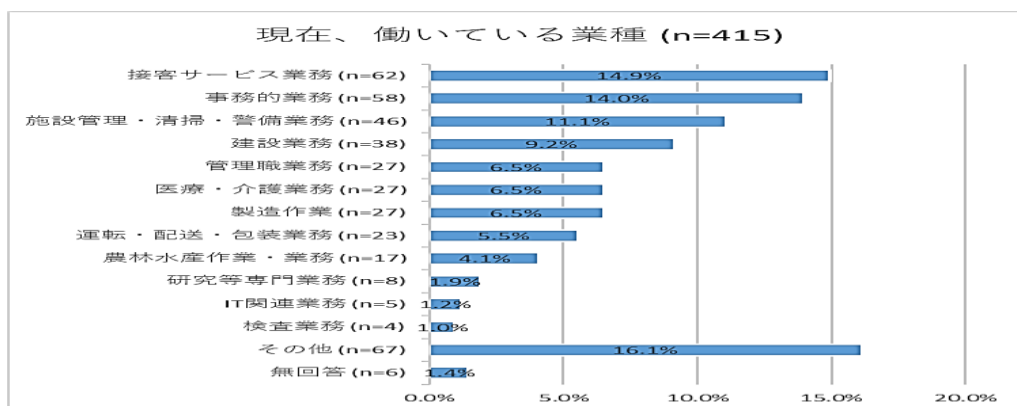
(性別・年齢層別にみる働くことに対する意向)

	現在、働いている	今後、働きたい	働きたいが、今は働けない	今後も働くつもりはない	無回答	計
60～64 歳	69.3	5.2	7.5	17.0	1.0	100.0
65～69 歳	48.9	9.4	9.9	30.9	0.9	100.0
70～74 歳	41.2	10.2	7.0	40.4	1.2	100.0
75 歳以上	20.3	11.9	11.2	52.2	4.4	100.0
男性	53.3	10.4	6.8	28.5	1.0	100.0
女性	33.5	8.2	11.3	44.1	2.9	100.0

(現在、働いている方)

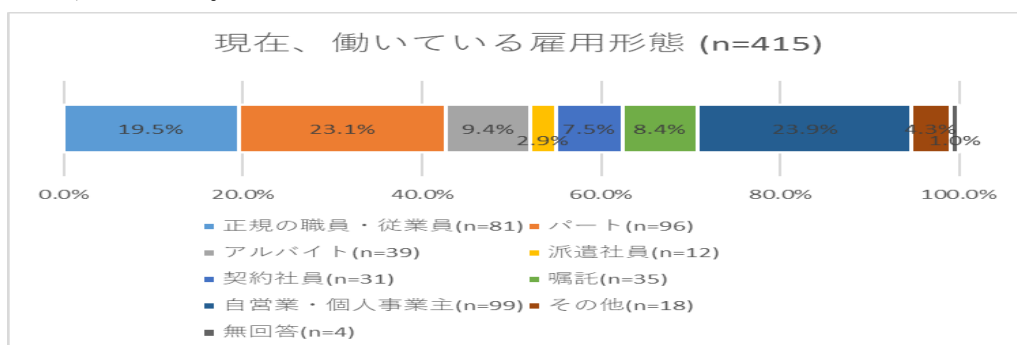
② - (ア) 現在、働いている業種 (問 18-1 複数回答)

『その他』が 16.1%、『接客サービス業務』が 14.9%、『事務的業務』が 14.0%、の順であった。



② - (イ) 現在、働いている雇用形態 (問 18-2)

『自営業・個人事業主』が 23.9%、『パート』が 23.1%、『正規の職員・従業員』が 19.5%であった。

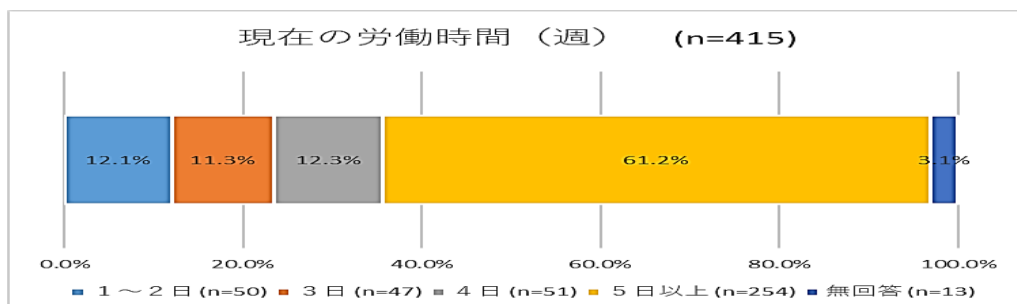


(年齢層別にみる現在働いている雇用形態)

	正規の職員・従業員	パート	アルバイト	派遣社員	契約社員	嘱託	自営業・個人事業主	その他	無回答	計
60～64 歳	31.3	22.4	4.8	0.7	11.6	8.8	18.4	2.0	0.0	100.0
65～69 歳	17.4	25.7	11.9	2.8	4.6	11.0	23.0	1.8	1.8	100.0
70～74 歳	12.4	23.8	13.3	3.8	6.7	6.7	26.7	4.7	1.9	100.0
75 歳以上	5.9	15.7	9.8	7.8	3.9	5.9	37.3	13.7	0.0	100.0

② - (ウ) 現在の労働時間（週） （問 18-3）

『5日以上』が61.2%であった。

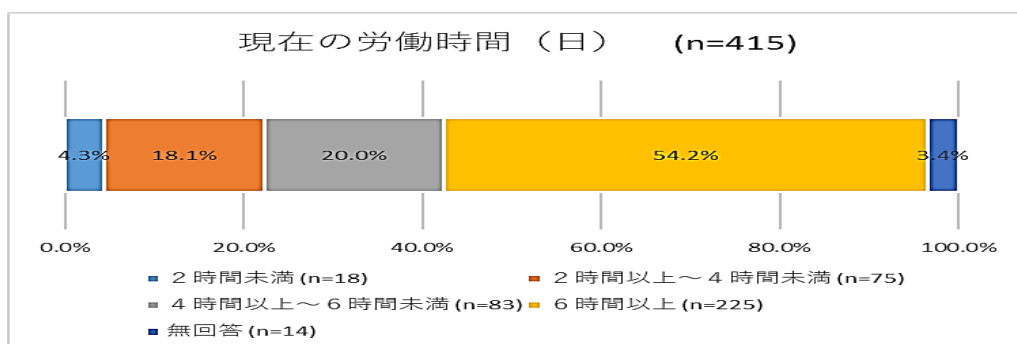


(年齢層別にみた現在の労働時間（週）)

	1・2日	3日	4日	5日以上	無回答	計
60～64歳	4.7	6.8	10.9	76.2	1.4	100.0
65～69歳	10.1	13.8	11.0	63.3	1.8	100.0
70～74歳	20.0	13.3	15.2	48.6	2.9	100.0
75歳以上	19.6	13.7	13.7	41.2	11.8	100.0

② - (エ) 現在の労働時間（日） （問 18-3）

『6時間以上』が54.2%であった。

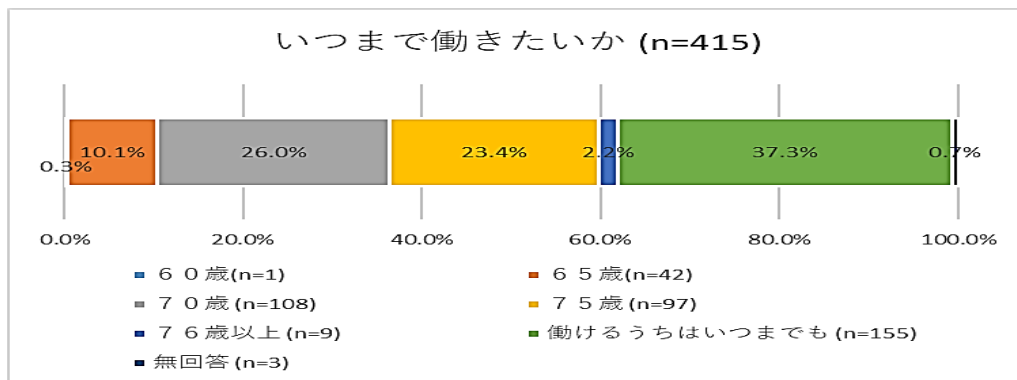


(年齢層別にみた現在の労働時間（日）)

	未満2時間	未満4時間	未満6時間	以上6時間	無回答	計
60～64歳	1.4	10.2	13.6	72.8	2.0	100.0
65～69歳	3.7	20.2	22.9	50.4	2.8	100.0
70～74歳	5.7	26.7	19.0	46.7	1.9	100.0
75歳以上	9.8	19.6	31.4	27.4	11.8	100.0

② - (オ) 就労継続を希望する年齢 (問 18-4)

70歳までの就労を希望する方が26.0%、75歳までの方が23.4%であった。
 なお、働けるうちはいつまでもの方が37.3%であった。



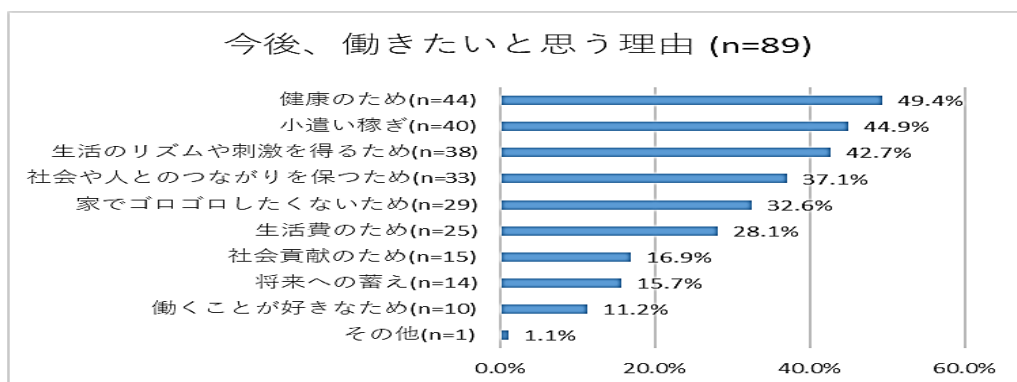
(年齢層別にみる就労継続を希望する年齢)

	60歳	65歳	70歳	75歳	76歳以上	働けるうちはいつまでも	無回答	計
60～64歳	0.7	27.9	40.1	5.4	0.7	25.2	—	100.0
65～69歳	—	0.9	40.4	34.9	—	22.9	0.9	100.0
70～74歳	—	—	3.8	45.7	3.8	46.7	—	100.0
75歳以上	—	—	—	5.9	7.8	82.4	3.9	100.0

(今後、働きたいと思っている方)

③ - (ア) 今後、働きたい理由 (問 19-1 複数回答)

『健康のため』が 49.4%、『小遣い稼ぎ』が 44.9%、『生活のリズムや刺激を得るため』が 42.7%の順であった。

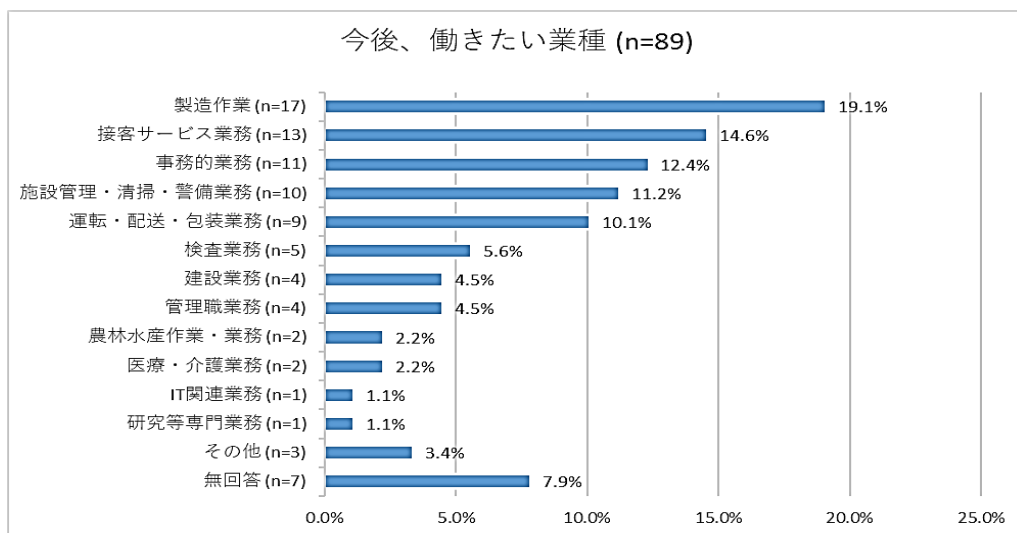


(年齢層別にみる今後働きたい理由)

	生活費のため	将来への蓄え	小遣い稼ぎ	健康のため	働くことが好きのため	社会貢献のため	家でゴロゴロしたくない	社会や人とのつながりを保つため	生活のリズムや刺激を得るため	その他
60～64 歳	63.6	27.3	36.4	27.3	9.1	9.1	18.2	45.5	45.5	—
65～69 歳	33.3	28.6	47.6	47.6	9.5	28.6	33.3	23.8	47.6	—
70～74 歳	26.9	—	42.3	57.7	19.2	23.1	42.3	34.6	26.9	—
75 歳以上	13.3	16.7	50.0	53.3	6.7	6.7	30.0	43.3	53.3	3.3

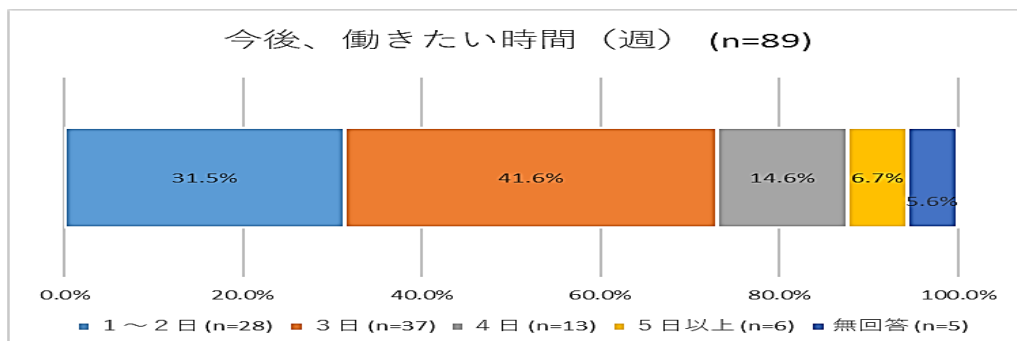
③ - (イ) 今後、働きたい業種 (問 19-2)

『製造作業』が 19.1%、『接客サービス業務』が 14.6%、『事務的業務』が 12.4%の順であった。



③ - (ウ) 今後、働きたい労働時間 (週) (問 19-3)

『3日』以内を希望する方が 73.1%であった。

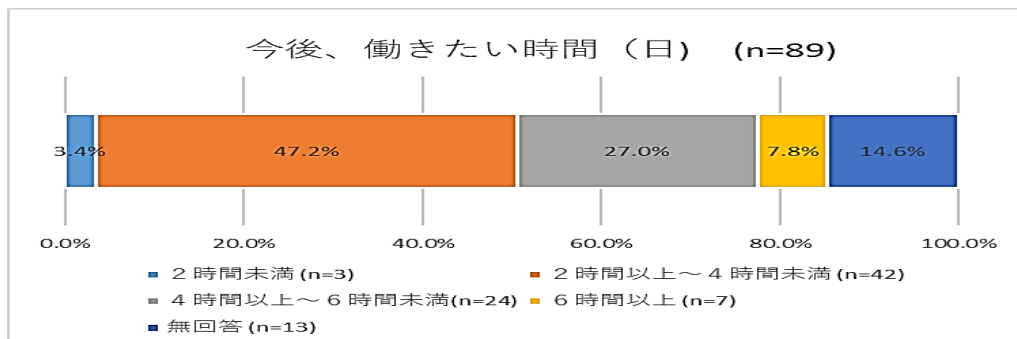


(年齢層別にみた今後働きたい労働時間 (週))

	1・2日	3日	4日	5日以上	無回答	計
60～64歳	0.0	54.5	18.2	18.2	9.1	100.0
65～69歳	42.9	33.3	14.3	4.8	4.7	100.0
70～74歳	46.2	38.5	11.5	0.0	3.8	100.0
75歳以上	23.3	43.3	16.7	10.0	6.7	100.0

③ - (エ) 今後、働きたい労働時間（日） （問 19-3）

4時間未満の就労を希望する方が 50.6%であった。

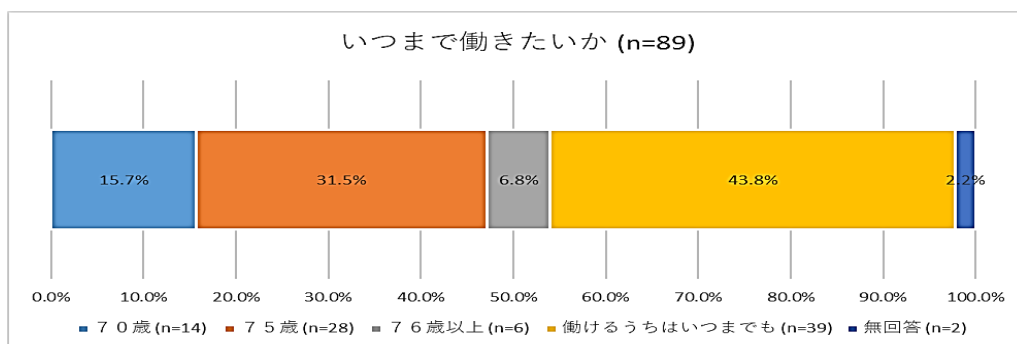


(年齢層別にみた今後働きたい労働時間（日）)

	未 満 2 時 間	未 満 4 時 間	未 満 6 時 間	以 上 6 時 間	無 回 答	計
60～64 歳	—	36.3	27.3	27.3	9.1	100.0
65～69 歳	—	52.4	23.8	9.5	14.3	100.0
70～74 歳	3.8	42.3	30.8	3.8	19.3	100.0
75 歳以上	6.7	53.3	26.7	3.3	10.0	100.0

③ - (オ) 就労継続を希望する年齢 （問 19-4）

75歳までの就労を希望する方が 31.5%であった。なお、働けるうちはいつまでもが 43.8%であった。



(年齢層別にみる就労継続を希望する年齢)

	60歳	65歳	70歳	75歳	76歳以上	働けるうちはいつまでも	無回答	計
60～64歳	—	—	54.5	9.1	0.0	27.3	9.1	100.0
65～69歳	—	—	23.8	57.1	4.8	9.5	4.8	100.0
70～74歳	—	—	7.7	53.9	3.8	34.6	—	100.0
75歳以上	—	—	3.3	3.3	13.4	80.0	—	100.0

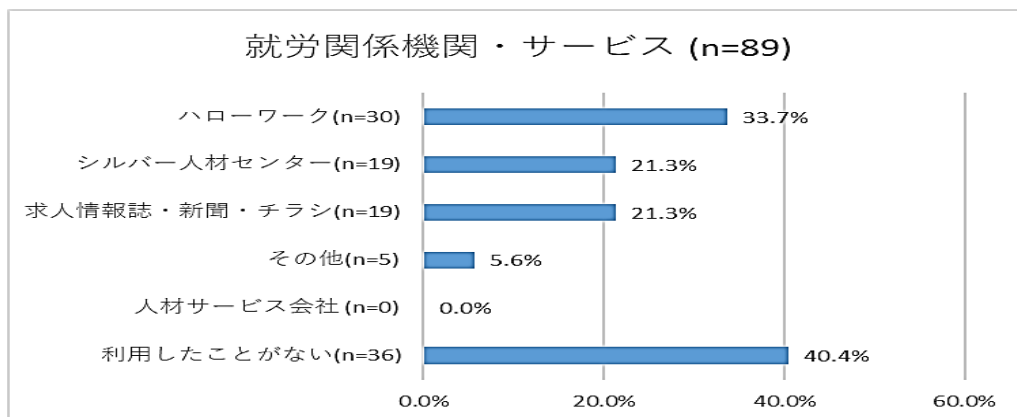
③ - (カ) 仕事を選択するときに重視すること (問 19-5)

とても重視する項目では『体力的にも精神的にも無理なく働けること』が 60.7%、
『勤務先が自宅に近いこと』が 44.9%、『勤務日や勤務時間を選べること』が 40.4%
であった。

	重視する とても	重視する やや	重視しない	無回答
①体力的にも精神的にも無理なく働けること	60.7	29.2	3.4	6.7
②給料がある程度あること	14.6	46.1	25.8	13.5
③人間関係がよいこと	34.8	41.6	12.4	11.2
④自分のペースで進められる仕事であること	30.3	46.1	9.0	14.6
⑤勤務日や勤務時間を選べること	40.4	37.1	9.0	13.5
⑥勤務先が自宅に近いこと	44.9	32.6	12.4	10.1
⑦自分のやりたい仕事であること	32.6	47.2	9.0	11.2
⑧自分の経験・能力を活かせる仕事であること	36.0	32.6	20.2	11.2

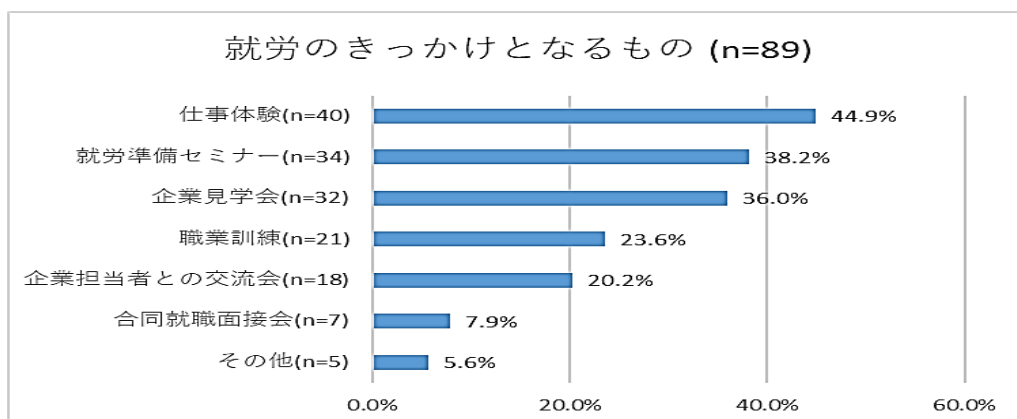
③ - (キ) 就労関係機関・サービス (問 19-6 複数回答)

『利用したことはない』が 40.4%、『ハローワーク』が 33.7%、『シルバー人材センター』が 21.3%の順であった。



③ - (ク) 就労のきっかけとなるもの (問 19-7 複数回答)

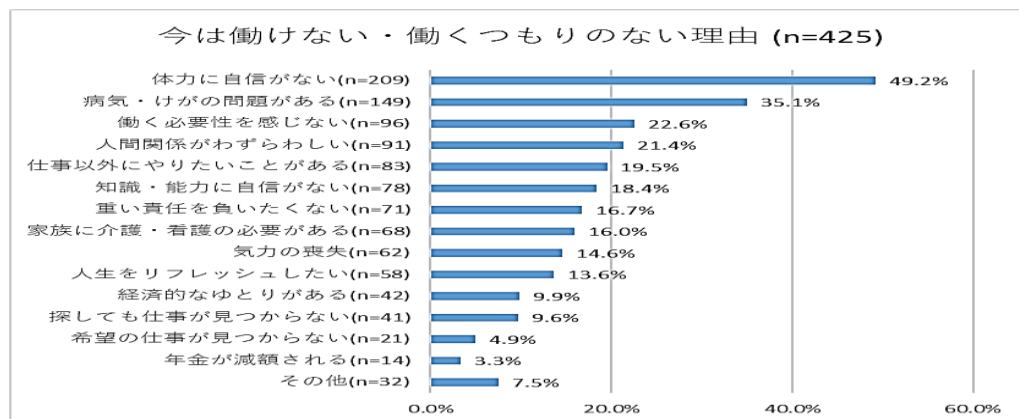
『仕事体験・インターンシップ』が 44.9%、『就労準備セミナー』が 38.2%、『企業見学会』が 36.0%の順であった。



(働きたいが今は働けない方・働くつもりのない方)

④ - (ア) 今は働けない・働くつもりはない理由 (問 20-1 複数回答)

『体力に自信がない』が 49.2%、『病気・けがの問題がある』が 35.1%、『働く必要性を感じないから』が 22.6%の順であった。



(年齢層別にみた今は働けない・働くつもりはない理由)

	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75 歳 以上
体力に自信がない	48.1	41.8	49.6	52.8
病気・けがの問題がある	25.0	33.0	37.2	38.4
気力の喪失	19.2	13.2	13.2	15.1
家族に介護・看護の必要がある	21.2	24.2	12.4	12.6
知識・能力に自信がない	23.1	12.1	16.5	22.0
重い責任を負いたくない	19.2	20.9	14.9	14.5
人間関係がわずらわしい	30.8	28.6	19.0	16.4
人生をリフレッシュしたいから	11.5	16.5	17.4	10.1
働く必要性を感じないから	15.4	25.3	23.1	23.3
探しても職が見つからないから	5.8	13.2	8.3	10.1
希望の仕事が見つからないから	11.5	4.4	5.0	3.1
年金が減額されるから	—	7.7	2.5	2.5
仕事以外にやりたいことがあるから	7.7	9.9	14.0	7.5
その他	19.2	22.0	24.0	15.1
無回答	21.2	3.3	4.1	8.2

(5) 調査に寄せられた主なご意見

- ・ 健康である限り働きたい。また、働くと共にサークル活動（自分の趣味にマッチするもの）も行ってみたい
- ・ 体が元気である限りは働くべきだ75才迄。大企業も70才迄も雇用を考えている現在は。無病息災であっても体を考えて働くべき。ラジオで聞きますと80才でも現在運転や厨房の仕事をしているとのこと、元気な老人は働くべき
- ・ 団塊世代より上の人たちは集まってすることに抵抗はないが、それより下の年代は社会や職場環境の影響であまり集いたくない傾向がある。今までの延長線上で良いのかは難しいと思う。
- ・ 町内でゴミの立会人などをしていると、しっかりとした方が働かずに家におられるのは、人手不足の現在にとってももったいないと思います。私は身体的にと親の介護もあり現在は無理ですが軽作業ならいつか働きたい気持ちはあります。このような調査を元にどこかでそういう施設を立ち上げてもらえたらいろいろな方が喜ぶと思います。
- ・ 近所の方は定年を迎えて働いている方がほとんどいませんが、今は元気なので少しは世の中の人と接触する事も大事な一と思いました。
- ・ 今年の始めの大雪でほとほと困りはてました。近所の人々がなんとか助けて下さいましたが、有料でいいですので、雪かき隊を作ってください。ご近所の方に終わったら、ビール券をあげたのですが、はっきりお金を払うのにした方が頼みやすいです。
- ・ 趣味も高齢化で人が減り、難しい状況です。仲間が増えたらと思います。
- ・ 公民館等の充実と活用を図る人員増などの制度・資金投入を希望（種々の職業の退職者への講座・教室の充実）
- ・ 現在、企業の多くは、65歳まで雇用延長しています。調査の対象者が60歳以上に異論、60歳～65歳は現役で、高齢者ではありません。
- ・ 高齢者といっても、体力的に自信もあり、一般的なものの見方よりはるかに働ける人もかなりいる。そのような人達がいるにも関わらず、概念的に高齢者と決めつけ、年齢制限を設けたりする企業が多い。又、性別に気をつけたり、資格にこだわったりするところもある。高齢者（元気な）が働ける企業や環境が整ったりしている企業があっても良い。そのような企業をもっとメディアで伝えてほしい。働きたい人達がいっぱいいる。人生100年だから
- ・ 「仕事ー働くー賃金の裏付け」という軸では、個人的にはその意欲は喪失しているが、このような調査結果を基に高齢者の社会参加をもっともっと幅広く紹介する必要がある。
- ・ 働くのを主とするのではなく仲間との交流を主としてその上すこしの収入があれば・・・。そんな仕事があれば・・・。
- ・ 私は現在65歳、同年齢で「生きがい」「働きがい」「きっかけ」を求めている者はほとんどのような気がします。

- ・ 65歳の定年までしっかりと働いたのでこの先は健康に気をつけて家族の為に、そして自分のために老後を過ごしていきたい！！時間に余裕があれば負担のない程度にボランティアでもできたら良いかと思っています。無理をして体調をくずして若い人の負担にはなりたくないと考えています。
- ・ 空き家になった町家などを使いやすく公的施設として改装したりして健康な高齢者が気軽に集える場所をいくつか提供することは可能でしょうか？
- ・ 困り事の支援に関してもう少し深く掘り下げて質問があれば今からの生活に役に立つのではと思いました。
- ・ ボランティアをするにも、目的があり単なる博愛では長続きしない。そして、ボランティアと言ってもお金の持ち出しはできない。(金持ちのほどこし) 交通費、1～2割以上の報酬を出すべきで、政府や市が介護をする人が足りないから無償のボランティア(ただ働き)をつのるのはまちがっている。きちんと予算を組んですべきである。
- ・ 体力増強や健康維持の為に体操教室などが、年齢制限や場所が遠い所が多く参加しにくい。
- ・ ボランティアや趣味などに参加する為には健康でないとできないので、まず健康管理し、維持できる体制を構築していく必要がある。認知症予防が今後の課題だと思います。市民みんなが高い意識を持ち認知症の少ない市、県にしていけたら良い。
- ・ 健康は基本ですが経済的なゆとり(年金額)の問題がウェイトをしめるのではと思う(活動について)
- ・ 75歳以上になると、希望する簡単な仕事がありません。チラシのポスティングも75歳までです。残念です。
- ・ 私のまわりで年がいても元気で働きたい人がけっこういます。でも仕事がないし、あっても自分に合わないか、遠いし、元気な人がいっぱいいます。
- ・ 健康について、自身努力で医者にかからない人達にもっと報奨を与えるべき。このままでは医療費はパンクします。報奨金を少しでも出すことで各人が努力してそれ以上のコスパの方が上回ると考えます。まずは金沢市から全国へ発信しましょう。
- ・ 昔のように家で簡単に出来る仕事がなくなってしまった。
- ・ 高齢者に対して個人個人の差があります。経験力量をみて報酬が得られる様な社会にと願っています。年齢だけで対処して欲しくない。
- ・ 高齢者は60才からですか？
- ・ 現在働いている人の設問が少ない。
- ・ 高齢者(?)に対しての固定的なイメージでの設問が多い。もっと多様な暮らし考え方があって欲しいか。
- ・ 家族と同居している場合。自分だけが健康でも家族に病気や問題が生じると時間を取られて地域の行事etcに参加できないことも分かって欲しい。